

出張医学教育FD(長野赤十字病院)

【日時】 平成25年6月17日18時30分～19時00分

【場所】 長野赤十字病院

【参加人数】 53名

【内容】

○卒前クリニカルクラークシップの現状

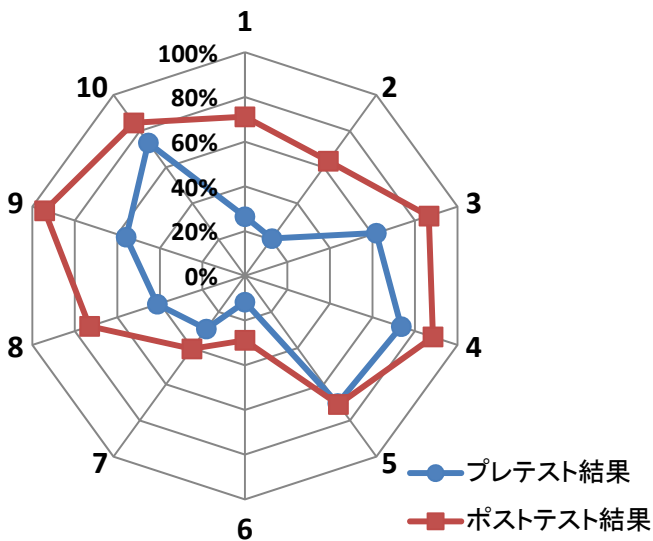
- ・見学型臨床実習(ポリクリ)と参加型臨床実習の違い 等

○信州大学における今後の臨床実習

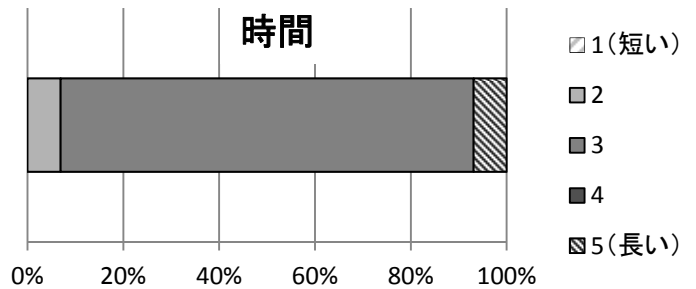
- ・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について
- ・学生が行うことのできる医行為について

○DVD映像で見る参加型臨床実習

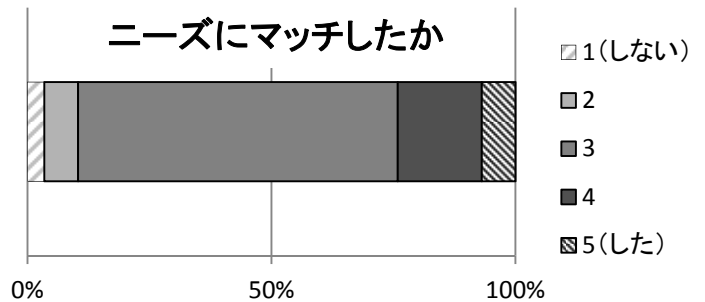
医学教育についての理解度



時間



ニーズにマッチしたか



参加者の意見

FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見
朝から働かせてよいこと	学生個々のレベル、到達度の違いにどのように対処すべきか	大学のみで教育が完結できるようにする努力も必要なのではないかと。
カルテを書かせてよいこと	e-learningやoff the job trainingについてどのように整備されているか	市中病院は、学生教育がメインではない
学生にはもっとやらせてもよいこと/参加させる意義	研修医は被研修者に当たるのか/研修医の時間内研修は可能か	市中病院では学生に時間を割けない
学生にも実習が必要であるということ/時間が長くなること	同意の取り方	ビデオの続きが見たい
ERの場がよいトレーニングになること	大学と赤十字病院の違い	教育は大事だが、過保護すぎると思い、違和感を感じた。自分で勉強し、参加する姿勢が大切だと思う。文部両道、部活は大いに結構、限られた時間を有効に使うのが重要なのでは。
大学のみでは学生への教育ができないということ	学生にやらせてもよいこと	
学生の教え方		